

市民と歩む議員の会 議会報告

発行 市民と歩む議員の会 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 (吹田市役所内) TEL 06-6384-1231(代表)

吹田市議会議員(無所属)

ば ば
馬場けいじろう

みんなで創ろう
元気な吹田!!



連絡先 〒564-0041 吹田市泉町5-3-5 TEL 06-6389-8555 FAX 06-6389-8558
E-mail babakeijiro@gmail.com URL http://www.baba-keijiro.com

桃山公園、江坂公園の再整備

吹田市では、主要8公園(千里南、千里北、紫金山、中の島、片山、桃山、江坂、健都レールサイド)について、官民連携による再整備・管理運営を推進する予定で、江坂、桃山両公園のPark-PFI事業者を選定するための予算と条例改正が提案されました。

公園内に事業者が飲食店や売店、駐車場などを設置し、その収益を公園整備に還元することが可能となりますが、豊かな自然環境を守るべきと計画見直しを求める意見書が市民有志から提出されるなど、市民への説明が不十分であり、市民を巻き込んだ形での事業推進を求め、会派として提案に反対しましたが、賛成多数で可決されました。

周辺店舗等との調和

馬場 千里南公園のカフェが公園の魅力向上に果たしている役割もあるだろうが、既存の周辺レストランに悪影響を与えている側面もある。

江坂公園周辺では多数のレストラン、カフェ、コンビニなどが営業をしている。Park-PFIにより、公園内にカフェ等が設置されれば、民業圧迫につながる危険性もある。

公園 周辺施設の立地状況を踏まえ、高密度な都市の中における江坂公園の役割が発揮される提案を民間事業者に求めていく。

駐車場を設置する必要性

馬場 江坂、桃山両公園は千里南公園とは役割が異なる。駐車場を設置する根拠はどこにあるのか。

公園 公園内駐車場は、広域的な利用も想定し、障害がある方も含め、すべての公園利用者の利便の向上を図るために設置する。

また、店舗等を整備する際に法令で必要とされる施設である。

	種類	主な対象	誘致距離
千里南公園	総合公園	都市住民全般	—
江坂公園	近隣公園	近隣居住者	500m
桃山公園	地区公園	徒歩圏内居住者	1km

市民意見を反映させる手法

馬場 南吹田駅周辺緑化重点地区内の6都市公園等においては、地域住民の方々とワークショップを重ねるなど、再整備に向けて官民協働の取り組みが進められている。この取り組みについての本市としての評価を示してほしい。

公園 地域住民とのワークショップは、公園を利用していただく市民の声を整備に反映させることができ、一定の成果があった。公園完成後も、市民による自主イベントの開催など、協働による取り組みが実践できると考えている。

馬場 江坂、桃山両公園のあるべき姿についてのパブリックコメントには賛否両論多くの建設的な意見が寄せられた。市民による議論の場を設け、多くの知恵を持ち寄せれば、さらに良いものが出来上がったのではないかと残念に思っている。

なぜワークショップや協議会の設置などの形態をとらなかったのか。

公園 南吹田では、公園・みどりを含めたまちづくりを協議してもらうため、ワークショップ形式を取り入れた。江坂、桃山両公園では、地域住民のみならず広域的は範囲からの利用を想定し、アンケートやパブリックコメントにより市民意見を聴取する手法とした。

公園利用者や地域住民への説明不足

馬場 桃山公園に隣接する自治会から住民説明会を求める要望が出されている。都市公園等ストックの弾力的な活用は否定しないが、地域の合意に基づくことが必要である。地域住民や公園利用者などが広く参加できる説明会の開催は必須である。

公園 一部の周辺住民や公園ボランティアの方々に説明を行っているが、引き続き近隣自治会への説明とともに、どなたでも参加可能な全体説明会を公園ごとに開催する予定である。

「誰もが楽しめる公園」となるために

馬場 足立区では区内全域の公園をのびのびと遊べる「にぎわいの公園」と静かに休める「やすらぎの公園」に分類し、幼児から高齢者まで幅広いニーズに合わせて使いやすい公園の整備に取り組んでいる。本市の主要8公園のあるべき姿を考える際に、公園ごとの役割分担や公園内のゾーニングを取り入れるべきである。

公園 江坂、桃山両公園においてもイメージとしてゾーン別運営方針を示しており、他市事例を参考にわかりやすいゾーニングに努めていく。

馬場 桃山公園の利用者の不安は、現在の「やすらぎの公園」としての機能が損なわれてしまうことにある。現在の特色は維持すべきである。

公園 新たな施設の整備について、桃山公園の特徴である景観や環境に最大限に配慮し、さらに魅力を向上させる観点で取り組んでいく。

「インクルーシブパーク」の理念

馬場 世田谷区の都立砦公園、豊島区のとしまキッズパークは障がいがある子どもと一緒に遊べるイン

クルーシブパークとして注目を集めている。残念ながら、江坂、桃山両公園にはそのような概念が感じられない。「誰もが楽しめる公園」を吹田市でも浸透させるべきである。

公園 整備方針の理念である「だれもが安心してすこやかに快適に暮らし続けられるまち」を目指し、再整備を行う。

馬場 そのためには、福祉部が所管する「バリアフリー吹田市民会議」に諮るなど、設計に係る前に障がい当事者の意見を聞く必要がある。

公園 現在、パブリックコメントに寄せられた意見に対し、丁寧な説明を行っている。バリアフリー吹田市民会議に諮る予定はないが、全体説明会の開催も予定しており、広く意見を聞いていきたい。

公園協議会の設置について

馬場 公園ごとに設置予定の公園協議会について、その構成員と権限、発足時期を示してほしい。ハードとソフトは密接に関わっており、公園整備に着手する前から関与してもらうべきである。

公園 市、各公園サポーター、自治会など地域の関係団体等を構成員と想定しており、指定管理者が事務局となり、公園利用者の利便向上を図るために必要な協議を行う。発足時期は指定管理者が選定されて以降、公園整備に入る前を想定している。

公園のあり方について広域的な検討を

馬場 千里ニュータウンの再整備には吹田市、豊中市の連携が欠かせない。豊中市の千里中央公園でも民間活力の導入が検討されているようだが、千里ニュータウンの都市公園のあり方については両市で検討すべきある。

公園 豊中市とは、千里ニュータウンに関わらず、都市公園等に係る取組について、これまでも情報共有を行い、参考にしていく。今後も適宜連携を図っていく。

公園 =公園みどり担当理事（土木部）